

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	01	土木事務事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	<p>■広域道路ネットワークの連携強化 (日常的なつながりの強い福井市との連携を強める道路網の整備、福井港丸岡インター連絡道路の整備など、骨格的道路のネットワークを促進する)</p>
--------------	---

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-2	交通基盤の充実		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令					
根拠例規					
関連計画・マニュアル					

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,173	1,783	1,438	390
	人件費	3,854	3,692	7,109	162
	総事業費	6,027	5,475	8,547	552
人員	正職員	0.55 人	0.55 人	1.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.55 人	0.55 人	1.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	6,027	5,475	8,547	552

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。	
【事業の概要】	
○旅費 (10名)	283 千円
○需用費 (説明会用お茶代)	2 千円
○使用料及び賃借料	269 千円
有料道路通行料	12 千円
大型コピー機リース料	257 千円
○負担金	1,619 千円
研修参加	24 千円
県道路協会	1,098 千円
日本港湾協会	50 千円
県港湾協会	107 千円
県国道連絡協議会	17 千円
県用地対策連絡協議会	6 千円
福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会	170 千円
県福井バイパス道路建設促進協議会	14 千円
国道364号改修期成同盟会	18 千円
新九頭竜橋建設促進期成同盟会	26 千円
川西国道建設促進期成同盟会	59 千円
日本道路協会会費	30 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市内交通事故死者数	%	目標	0	0	0	0	0
			実績			4	5	4
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
独自指標	日本港湾協会総会参加	人	目標					
			実績	1	1	1	1	1
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		港湾事業促進に対する要望会議の参加数						
独自指標	福井県道路協会総会参加	人	目標					
			実績	1	1	1	1	1
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		県内道路事業促進に対する要望会議の参加数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	<p>国、県が実施する幹線道路整備等の事業促進の目的意識を持ち事業に取り組んだ結果、概ね目標を達成しているが、引き続き都市基盤整備のための事業促進に向け、行政運営に取り組んでいきます。</p>							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-2	交通基盤の充実
	基本施策		骨格的な道路ネットワークの形成			
実施事業名(小事業)	土木事務事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 道路や河川等の各種負担金等について 道路や河川等の整備促進については、各関係市町と連携を図り、相互の交通緩和・地域の治水対策及び環境整備することで、地域住民の生活の安定と発展に寄与することができる。 福井港丸岡インター連絡道路について 嶺北地域の広域交流拠点である「福井港」及び県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と、北陸自動車道を連絡する地域高規格道路であり、これら施設を核とした産業機能の集積に寄与するとともに、嶺北北部の東西方向に脆弱な交通ネットワーク網を強化することができる。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	06	県営事業負担金		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成			建設課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 地方財政法第27条の規定に基づき、福井県が行なう道路・河川事業等について、事業毎の負担率において市が負担し、事業進捗を図る。

【事業の概要】
 (負担率) 県単道路改良事業1/10、県単道路改良事業(防災・安全交付金)5/100、県単道路改良事業(旧地方特定)5/100、県単雪寒道路整備事業2/10、公共雪寒道路整備事業1/6、雪寒道路整備事業(リルッ1)2/10、県単急傾斜地崩壊防止施設改修事業1/10、消雪設備維持管理4~90%

○県営事業負担金 24,672千円

- 県単道路改良事業(三国丸岡停車場線外9箇所) 3,449千円
- 県単道路改良事業・防災・安全交付金(三国東尋坊芦原線) 7,900千円
- 県単雪寒道路整備事業(板倉高江線) 6,200千円
- 県単雪寒道路整備事業・防災・安全交付金(丸岡1号線) 5,167千円
- 県単雪寒道路整備事業・リルッ1(福井金津線外1箇所) 791千円
- 県単急傾斜地崩壊防止施設改修事業(安島外1箇所) 821千円
- 消雪設備維持管理(南横地芦原線外3箇所) 344千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	24,672	24,665	42,511	7
	人件費	841	806	853	35
	総事業費	25,513	25,471	43,364	42
人員	正職員	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	35,450	0
	一般財源	25,513	25,471	7,914	42

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	県事業について協議回数	回	目標			4	4	4
			実績			4	4	4
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標	指標の説明 県事業の内容確認の協議回数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	市内県道の事業内容把握により、市内道路ネットワークの整備に生かすため目標協議回数を設定し、目標を達成しています。引き続き、協議により円滑な事業運営に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
大事業	201	土木事業			中事業	11	道の駅管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■農産物直売所（ふれあいパーク三里浜） ■道の駅（みくに・さかい）管理運営
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	8	地域全体でもてなすまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	8-1	観光資源の個性と魅力づくり			建設課
総合戦略	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化			
	施策	4-4	観光の振興			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくに、道の駅さかいを適正に管理運営する。	
【事業の概要】	
○需用費	3,279 千円
消耗品費（保健衛生用品等）	395 千円
光熱水費（電気料・上下水道料）	2,787 千円
修繕料（トイレ修繕）	97 千円
○役務費（電話料）	103 千円
○委託料	5,085 千円
保守点検（消防設備・自動ドア）	77 千円
清掃委託	158 千円
維持管理委託	4,850 千円
○使用料（CATV、インターネット、NHK受信料）	219 千円
○負担金	133 千円
近畿道の駅連絡会	94 千円
ふくい道駅会	39 千円

3.事業のコスト (単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	8,819	8,653	8,269	166
	人件費	2,242	2,148	2,346	94
	総事業費	11,061	10,801	10,615	260
人員	正職員	0.32 人	0.32 人	0.33 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.32 人	0.32 人	0.33 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	531	440	444	91
	一般財源	10,530	10,361	10,171	169

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	道の駅みくに利用者数	万人	目標	30	30	30	30	30
			実績			32	32	31
			達成率(%)	0.0	0.0	106.7	106.7	103.3
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	緩やかではあるが、道の駅利用者は増加傾向にあり、目標は達成していません。来年度以降も目標達成できるよう取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させる必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	施設の老朽化が進む中、限られた予算の中で利用者に不快感を与えないよう維持管理することが必要と考えます。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	今後も道の駅利用者が気持ちよく施設を利用できるよう維持管理に努めていきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-4	観光の振興
	基本施策	6	東尋坊・三国湊、丸岡城を核とする観光ルートの整備			
実施事業名(小事業)	道の駅管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等						
	<ul style="list-style-type: none"> 観光客を含む道路利用者の利便性向上に努める。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	01	道路橋りょう総務費
大	事業	051	道路橋りょう総務事業	中	事業	01	道路橋りょう総務事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。	
【事業の概要】	
市道借地借上料等の支払い及び道路台帳の管理を行う。	
○委託料	4,288 千円
道路台帳システム・V-nas保守点検	594 千円
道路台帳作成・修正業務委託	3,694 千円
(新規0.65km、修正3.01km、交差点等の修正N=16箇所)	
○賃借料(市道敷土地借上料)	8,536 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	12,824	14,078	12,550	△ 1,254
	人件費	2,803	9,398	5,332	△ 6,595
	総事業費	15,627	23,476	17,882	△ 7,849
人員	正職員	0.40 人	1.40 人	0.75 人	△ 1.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.40 人	1.40 人	0.75 人	△ 1.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	15,627	23,476	17,882	△ 7,849

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道（延長）	Km	目標	800	799	798	797	795
			実績			798	797	795
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		市道の延長						
指標	道路台帳修正業務	千円	目標					
			実績			3,694	4,990	3,456
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	道路台帳を整備更新し安全な道路維持に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績	安全な道路環境を保持し、道路管理者として適正な管理に努めていきます。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大	事業	001	道路橋りょう維持事業	中	事業	01	道路橋りょう維持事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備		
	施策	5-1	市街地・住環境の整備		
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

【事業の概要】
市道の舗装、側溝などの道路構造物の維持補修業務、街路樹剪定・道路路肩の除草など道路施設を適正に保持する。

○賃金(地下道管理人)	84千円
○需用費	15,352千円
施設管理消耗品費	200千円
光熱水費	2,865千円
施設修繕料(163箇所)	12,287千円
○役務費(専用回線使用料等)	31千円
○委託料	43,461千円
樹木管理委託料	12,104千円
除草委託料	1,706千円
踏切施設維持管理委託料	2,624千円
道路施設維持管理委託料	7,423千円
道路ストック点検業務委託料	19,604千円
○原材料費(修繕用材料)	1,942千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■道路橋りょうの整備・維持
----------	---------------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	60,870	80,376	53,015	△ 19,506
	人件費	19,129	10,942	8,736	8,187
	総事業費	79,999	91,318	61,751	△ 11,319
人員	正職員	2.73 人	1.63 人	1.20 人	1.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.10 人	0.10 人	△ 0.10 人
	人員計	2.73 人	1.73 人	1.30 人	1.00 人
財源内訳	国県支出金	10,782	21,725	6,380	△ 10,943
	その他特定財源	30,777	28,388	0	2,389
	一般財源	38,440	41,205	55,371	△ 2,765

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	街路樹に関する苦情	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			9	3	2
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標	一般車両タイヤパンク件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			2	2	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標	修繕件数	件	目標	180	180	180	180	180
			実績			163	154	206
		達成率(%)	0.0	0.0	90.6	85.6	114.4	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	道路環境を良好な状態にするための維持管理を行い、道路施設等の修繕に対し迅速に対応しています。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			法改正に伴う道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。
これまでの見直しや改善等の実績	市道の適正な維持管理は、住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のため、サービス水準等の維持に努めていきます。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	基本施策		生活道路の整備			
実施事業名(小事業)	道路橋りょう維持事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設等の維持管理 生活道路は、買い物や通院といった人々の日常的な移動を支える機能から、消防や救急搬送といった緊急時の移動、災害時の避難など様々な機能を有するため、適正な維持管理が重要である。 道路施設等の維持管理（コスト）が増大する。 道路施設用の点検業務の義務化に伴い、維持管理費用が増大する。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大事業	051	除雪対策事業			中事業	01	除雪対策事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実			建設課
総合戦略	政策パッケージ	5	都市基盤整備			
	施策	5-1	市街地・住環境の整備			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	有		道路除雪基本計画、道路除雪実施計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
冬期間の積雪時における主要道路及び生活道路の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施する。

【事業の概要】
道路除雪基本計画・実施計画に基づき、市道約800kmを市保有除雪機械及び民間企業からの借上げ機械により、道路除雪及び歩道除雪を行うとともに、消雪設備等の既存施設の修繕により適正管理を行う。

○職員手当(時間外手当179名)	25,415千円
○需用費	39,770千円
○役務費	2,152千円
○委託料	667,738千円
○材料及び賃借料(機械リース35台、土地借地等)	28,152千円
○工事請負費(消雪井戸修繕工事、ノズル取替工事)	10,530千円
○除雪機械整備費等補助金	13,321千円
○公課費(車両重量税5台)	625千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	■除雪対策
----------	-------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	787,703	100,493	141,155	687,210
	人件費	9,459	8,391	8,531	1,068
	総事業費	797,162	108,884	149,686	688,278
人員	正職員	1.35 人	1.25 人	1.20 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.35 人	1.25 人	1.20 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	130,900	9,044	6,600	121,856
	その他特定財源	115	80	80	35
	一般財源	666,147	99,760	143,006	566,387

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道の交通障害発生件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績				0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標	除雪機械稼働時間		目標					
			実績			43,454	537	2,475
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	降雪の状況により、業務量が変わるため、過去実績との単純な比較はできませんが、引き続き、コスト削減、交通障害がないように努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>現在、市道以外の幹線区道も市が除雪を行っているため、市道除雪の効率は低下しています。市道除雪と区道除雪の効率性のために、区が主体的に区道除雪を行える施策が必要と考えられます。</p> <p>除雪協力企業が購入する除排雪機械の整備に要する経費に対する補助、または区が区内狭あい道路の除雪をする除雪機械の購入に要する経費に対する補助制度を創設しました。</p>		

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-1	市街地・住環境の整備
	基本施策		(3)生活道路の整備			
実施事業名(小事業)	除雪対策事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>●道路除排雪機械整備費補助金</p> <p>1 降雪時における市道の安全確保及び市民生活の安定を図ることを目的として、除雪協力企業（市と道路除排雪業務委託契約を締結し、市道の除排雪業務を行う企業）が行う道路除排雪機械の整備に要する経費に対し補助金を交付する。 ※除雪協力企業が保有する機械の拡充や更新が図られることにより、除雪作業能力の向上に効果あり ※除雪協力企業の主力であった土木業者が減少している現在、土木業者以外の業者に補助制度を活用してもらい働きかけ、またはオペレーターの確保についても考慮していく必要がある。</p> <p>●坂井市雪に強いまちづくり事業費補助金</p> <p>1 降雪時における坂井市内にある狭小幅員道路の確保及び市民生活の安定を図るために、区の小型除雪機械等の購入に要する経費に対し補助金を交付する。 ※区が主体となって、降雪時における市道以外の狭小幅員道路の確保を行うことにより市民生活の安定が図られ効果あり ※除雪業者が減少している現状の中、この補助金を効果的に活用することにより、除雪作業の効率化を図りたい。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	02	道路橋りょう維持費
大事業	101	道路橋りょう補助事業			中事業	01	五本跨線橋長寿命化事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 坂井市橋梁長寿命化計画修繕計画に基づき、予防保全的な補修対策を実施することにより、橋梁の長寿命化、道路交通の安全・安心及び防災面における道路網の確保を図る。

【事業の概要】

- 全体事業費 160,000千円 ・事業年度 H26~H29
- 橋梁延長 L=220.6m
- W=8.3m (車道3.0m×2、歩道0.75m×2、地覆0.4m×2)

○工事請負費 75,896 千円

- 塗装塗替工事費（橋長延長L=220.6m A=2,520㎡）
- 取付舗装・側溝修繕工事費（A=421㎡ 横断側溝修繕L=16m）

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	75,896	40,500	34,430	35,396
	人件費	3,363	3,222	3,057	141
	総事業費	79,259	43,722	37,487	35,537
人員	正職員	0.48 人	0.48 人	0.43 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.48 人	0.48 人	0.43 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	41,743	22,275	18,920	19,468
	その他特定財源	32,400	17,300	14,700	15,100
	一般財源	5,116	4,147	3,867	969

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	事業費	目標	90	38	76	41	34
			実績			76	41	35
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	102.9
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成29年度補修予定箇所は、予定通り完了しました。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		完了	中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明	五本跨線橋については予定通り事業完了しました。今後は、市の管理する橋りょうについて個別施設計画を策定し、計画的に橋りょう補修及び点検を行い、道路交通の安全確保を図ります。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	001	道路改良事業	中	事業	01	道路改良事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。	
【事業の概要】	
○需用費(消耗品費、資料購入代)	437千円
○委託料	9,522千円
積算システム保守委託料	394千円
測量設計業務委託料	6,991千円
登記業務委託料	2,137千円
○使用料及び賃借料(積算システム使用料)	592千円
○工事請負費(295箇所)	257,821千円
○公有財産購入費(A=414.04㎡)	5,263千円
土地寄付採納面積 A=221.21㎡	
○備品購入費	30千円
○補償、補填及び賠償金	189千円
(前年度繰越分)	2,491千円
○工事請負費(道路改良工事費)	313千円
工事施工延長L=5.8m	
○公有財産購入費(A=218.20㎡)	2,178千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	276,345	259,713	236,481	16,632
	人件費	10,861	10,711	19,194	150
	総事業費	287,206	270,424	255,675	16,782
人員	正職員	1.55 人	1.60 人	2.70 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.55 人	1.60 人	2.70 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	1,170	2,307	0	△ 1,137
	その他特定財源	0	0	26	0
	一般財源	286,036	268,117	255,649	17,919

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市道での交通事故発生件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			49	79	72
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標	用地買収事務	件数	目標					
			実績			9	3	2
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	市道の改良及び未改良区間を整備することにより、安全、円滑で快適な交通環境整備に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 道路施設等の老朽化により、地元要望件数の増加傾向にあります。予算縮減のなか厳しい対応に追われている状況です。
これまでの見直しや改善等の実績	未改良区間の道路側溝等の工事を実施することは、安全で円滑な交通環境を確保するために必要だと考えています。

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	市道整備の要望件数は多く、限られた予算の中から緊急度、費用対効果などを考慮して実施していくことが重要であります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	051	区環境整備補助事業			中事業	01	区環境整備補助事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		所管部局	建設部
	基本計画	4-4	身近な生活道路の整備			建設課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）		
根拠法令	無					
根拠例規	有		坂井市補助金等交付規則、建設課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。

【事業の概要】
 行政区が管理する道路・排水路の整備工事について、同一会計年度に1回(補助金限度額200万円)を補助する。(補助率1/2)

○補助金 8,845千円

石塚区	(区道側溝改良)	三本木区	(区道側溝改良)
磯部福所区	(区道舗装)	油為頭区	(区道舗装)
木部新保区	(区道舗装)	玄女区	(区道側溝改良)
坪江区	(区道舗装)		
正善区	(区道舗装)		
西区	(区道舗装)		
西太郎丸区	(区道側溝改良)		
下長畝区	(区道側溝改良)		
猪爪新2区	(区道側溝改良)		
下兵庫区	(区道防護柵)		
桜ヶ丘区	(区道防護柵)		
東二ツ屋区	(区道側溝改良)		
上長畝区	(区道拡幅改良)		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	8,845	10,607	9,357	△ 1,762
	人件費	3,994	4,162	2,275	△ 168
	総事業費	12,839	14,769	11,632	△ 1,930
人員	正職員	0.57 人	0.62 人	0.32 人	△ 0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.57 人	0.62 人	0.32 人	△ 0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	12,839	14,769	11,632	△ 1,930

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	交付申請待機件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		予算不足による待機件数						
指標	補助金支出件数	件	目標					
			実績			16	18	23
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		補助件数（行政区数）						
指標	補助金支出実績	千円	目標	9,400	9,400	9,400	9,600	10,000
			実績			8,845	10,607	9,239
		達成率(%)	0.0	0.0	94.1	110.5	92.4	
指標の説明		補助金額合計						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	行政区の要望に応える結果となっています。行政区が自らの計画及び資金にて行う事業は、地域への誇りと満足度に繋がることから、引き続き目標達成できるよう取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大	事業	101	道路改良補助事業	中	事業	01	未政・随応寺線道路改良事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
丸岡町市街から春江町市街を結ぶ幹線道路である未政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどにより交通量が増加していることから、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童・生徒の安全確保を図る。

【事業の概要】

- 全体事業費 2,050,000千円 ・事業年度 H11~H31
- 全体延長 L=2,150m ・W=14m (車道7.0m、歩道3.5m×2)
- 工事請負費 (道路改良工事費) 58,410 千円
工事施工延長 L=370m
- 公有財産購入費 (A=1,284㎡) 21,444 千円
- 補償費 (建物工作物等移転補償費) 6,809 千円
(前年度繰越分) 8,589 千円
- 委託料 (測量設計業務) 281 千円
- 工事請負費 (道路改良工事費) 8,308 千円
工事施工延長 L=214.7m
(翌年度繰越)
- 工事請負費 88,546 千円
- 公有財産購入費 2,676 千円
- 補償、補填及び賠償金 4,214 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	95,252	71,396	63,022	23,856
	人件費	3,223	2,752	2,275	471
	総事業費	98,475	74,148	65,297	24,327
人員	正職員	0.46 人	0.41 人	0.32 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.46 人	0.41 人	0.32 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	42,625	38,755	43,965	3,870
	その他特定財源	44,900	31,000	18,843	13,900
	一般財源	10,950	4,393	2,489	6,557

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	事業進捗	%	目標	77	76	67	58	54
			実績			62	58	54
			達成率(%)	0.0	0.0	92.5	100.0	100.0
独自指標	指標の説明							
指標	事業費	百万円	目標	10	201	191	80	64
			実績			95	79	63
			達成率(%)	0.0	0.0	49.7	98.8	98.4
独自指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度	平成31年度	
方向性の説明	事業計画完了年度を目指し、継続して取り組んでいきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	101	道路改良補助事業			中事業	10	上安田3号線道路改良事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	2	多様な都市活動を支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	2-2	骨格的な道路ネットワークの形成		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
丸岡南中学校の通学路、及びよつば幼保園の送迎道路である上安田3号線の自転車歩行者道整備を行うことにより、生徒及び園児の安全確保を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 400,000千円 全体延長 L=974m ・W=11m（車道7.5m、歩道3.5m） 	<ul style="list-style-type: none"> 事業年度 H26~H32
○委託料（建物等調査算定業務・測量設計業務）	1,566 千円
○工事請負費（道路改良工事費） 工事施工延長 L=154m	12,210 千円
○公有財産購入費（A=263.48㎡） （翌年度繰越）	4,224 千円
○工事請負費	24,190 千円
○公有財産購入費	1,810 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	18,000	10,417	6,048	7,583
	人件費	3,574	2,417	1,564	1,157
	総事業費	21,574	12,834	7,612	8,740
人員	正職員	0.51 人	0.36 人	0.22 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.51 人	0.36 人	0.22 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金	9,650	5,168	3,300	4,482
	その他特定財源	7,500	4,000	2,600	3,500
	一般財源	4,424	3,666	1,712	758

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	事業費	目標	36	117	44	11	7
			実績			18	10	6
			達成率(%)	0.0	0.0	40.9	90.9	85.7
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		国への予算要求及び地元協議を行って事業を進め、引き続き事業計画年度完了を目指し、取り組んでいきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	完了
目標年度		目標年度	
方向性の説明	平成29年4月に隣接する私立よつば幼保園が開業したことで、当該道路の必要性が向上するため事業促進を図ります。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	03	道路橋りょう新設改良費
大事業	151	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			中事業	11	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ハード事業	
根拠法令	有	道路法、道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
三国町の人口集中地区の避難路である市道三国60号線の改良を行い、災害時における避難路の安全確保を図る。	
【事業の概要】	
<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費 156,000千円 ・事業年度 H26~H30 全体延長 L=960m ・W=12m（車道7.0m、歩道2.5m×2） 	
○工事請負費（道路改良工事費）	27,032 千円
工事施工延長 L=180m	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	27,032	26,568	40,743	464
	人件費	3,013	2,887	3,697	126
	総事業費	30,045	29,455	44,440	590
人員	正職員	0.43 人	0.42 人	0.52 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.43 人	0.42 人	0.52 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	25,919	25,919	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,126	3,536	44,440	590

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	防災道路の整備箇所	箇所	目標	0	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指標の説明								
指標	事業費	百万円	目標	0	31	29	27	40
			実績			28	27	40
		達成率(%)	0.0	0.0	96.6	100.0	100.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	安全で快適な道路環境整備に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度	平成35年度	
方向性の説明	本事業は石油貯蔵施設が立地する自治体が公共施設の整備に要する費用に充当されることから、道路及び消防施設等を計画的に事業を進めていく必要があります。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名(小事業)					
事業で得られたノウハウや気づき等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	02	道路橋りょう費	目	04	交通安全施設費
大	事業	001	交通安全施設整備事業		中	事業	01	交通安全施設整備事業	
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	4-2	安全・安心対策の充実		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	52,654	50,907	37,527	1,747
	人件費	5,956	5,370	8,318	586
	総事業費	58,610	56,277	45,845	2,333
人員	正職員	0.85 人	0.80 人	1.17 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.85 人	0.80 人	1.17 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	10,447	15,367	0	△ 4,920
	その他特定財源	8,100	0	0	8,100
	一般財源	40,063	40,910	45,845	△ 847

2.事業の目的・概要

【事業の目的】 道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図る。		
【事業の概要】 交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と道路照明灯・防犯灯の維持管理を行う。		
○需用費		31,081 千円
電気料	21,082 千円	
修繕料	9,999 千円	
○役務費(火災保険料)		78 千円
○工事請負費		21,495 千円
・施設修繕及び改良箇所416箇所		
内訳	道路照明・防犯灯	208箇所
	道路反射鏡	99箇所
	防護柵	26箇所
	視線誘導標	54箇所
	その他安全施設	29箇所

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	市内交通事故死亡数	人	目標	0	0	0	0	0
			実績			1	2	3
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		市内交通事故における死亡人数						
指標	交通安全施設の修繕件数	件	目標			150	145	120
			実績			146	141	116
		達成率(%)	0.0	0.0	97.3	97.2	96.7	
指標の説明		交通安全施設の修繕件数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	道路における交通環境の改善に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 道路施設の点検義務化により、点検費用とそれに伴う修繕等の費用の増加が懸念されます。
これまでの見直しや改善等の実績	カーブミラー等の安全施設の維持管理は、交通安全につながる重要な事業であり、道路パトロールの実施による早期対処することにより、安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ 基本施策		施策	
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	08	土木費	項	03	河川費	目	01	河川総務費
大事業	051	河川事業			中事業	01	河川事務事業		
小事業	01	河川事務事業			06	新江承水路転落防止柵取替事業		他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	4	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	所管 部局	建設部
	基本計画	4-1	災害に強いまちづくりの推進		建設課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。

【事業の概要】
磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈、河川浚渫等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。

◆河川事務事業 本庁 14,750 千円

- 賃金（臨時職員、水門管理人） 1,801 千円
- 需用費 1,403 千円
 - 消耗品費 95 千円
 - 光熱水費（電気料） 249 千円
 - 修繕料（里竹田水防倉庫） 1,059 千円
- 役務費（火災保険料） 4 千円
- 委託料 1,934 千円
 - 水門管理 90 千円
 - 河川維持管理 1,844 千円
- 賃借料（里竹田水防倉庫土地借上料） 10 千円
- 工事請負費（河川浚渫工事費・河川護岸補修工事費他） 5,284 千円
- 原材料費 29 千円

3.事業のコスト (単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	16,478	15,791	10,214	687
	人件費	4,765	4,565	4,621	200
	総事業費	21,243	20,356	14,835	887
人員	正職員	0.68 人	0.68 人	0.65 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.68 人	0.68 人	0.65 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	4,541	5,952	2,943	△ 1,411
	その他特定財源	2,112	1,346	1,411	766
	一般財源	14,590	13,058	10,481	1,532

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	河川に関する苦情件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績			0	0	0
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標	河川管理委託料	千円	目標	2,811	2,811	2,811	1,065	816
			実績			1,934	1,090	663
			達成率(%)	0.0	0.0	68.8	102.3	81.3
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	河川管理施設の適正な維持管理に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						